

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面・体制整備

利用定員と活動室のスペースは車椅子の置き場を考えれば広くスペースが確保される。

職員配置はさらに支援職員が1名欲しいとの意見が多かった。

B業務改善

月1の職員ミーティングで細かく話し合いを行い勉強会も出来ている。各専門職の分野ごとに研修を計画していく。

C適切な支援の提供

アセスメントをし計画書を作成しているが他の職員の理解度は低かった。利用者の支援方法や課題について掘り下げて考えていけるようにする。その日には振り返りは出来ていないが次の日に行うようにしている。

D関係機関や保護者との連携

放課後デイサービスがどこまで行うべきかは課題ではあるが、就学前の情報を家族から聞くことは出来る。計画書作成も専門職と考えていくことも必要。

E保護者への説明責任等

面談時に保護者の話を聞いたり行えている。また送迎時に保護者とのコミュニケーションも大事にしている。月間予定表やブログでの発信を行えているから今後も発信する。また保護者会をやりたいという声が多く、活動を見たいという声が多く、保護者参加の活動は行ない職員とのコミュニケーション、保護者同士の交流に繋がっている。

F非常時等の対応

緊急時の対応は職員で周知出来ていて定期的なマニュアルの見直しを行えているが保護者に周知されていないという意見もある。

保護者による評価

A環境・体制整備

活動スペースの十分な確保や設備のバリアフリー化、また職員の配置や専門性については学校の中にあるという事もあり満足されている。また看護師の人数が多いことに対応が早くて助かるとの声もある。

B適切な支援の提供

活動プログラムが行われ固定化に関しては様々なプログラムを考え保護者も一緒に楽しませてもらっている。作品やお土産も喜ばれているかたが多い。障害のない児童との関りに関しては出来ていないので評価は低いが、交流を求めない声もあった。

C保護者への説明

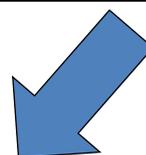
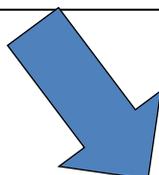
支援の内容などの説明は送迎時の申し送りや連絡帳でのやり取りや場合によっては電話でのやり取りを行っている為満足されている。保護者会はコロナの影響もあり開催できていないことから評価は低かった。保護者交流があれば話しかけやすいとの声も上がった。苦情があるのか分からないという意見もあった。

D非常時の対応

非常事態の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているかについての満足度は去年に比べ今年が高い評価になっていた。

E満足度

通所を楽しみにしているかについては評価は高かった。帰ってくると表情良い、毎回楽しそうに帰ってくる。事業所の支援に満足しているかについても評価は高かった。丁寧な支援で安心して通わせられるイベントが凝っていていつも楽しみにしている、子供の為に考えてくれている、色々な工夫をしてきて、新しい居場所になっている。学校休日も営業があると良い。もっと沢山利用させたい等の意見があった。



事業所内での分析

【共通点】

活動に関してたんぼぼでしか経験できない活動の提供。活動の工夫をしている。
ブログの更新で活動の様子を伝えることが出来た。

【相違点】

事業所は緊急時の対応に関してはシミュレーションを行いながら日々行っていてブログなどでも伝えて
いる為保護者から評価は高くなってきてはいるがまだまだ何を行っているか分からないとの意見もあつ
た。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

ミーティングなどで障害特性を勉強したり、その中で活動にどう生かせるか、活動でのアプローチの練習を事前に行いながら子供たちが笑顔で帰れるよう活動を提供している。送迎時やイベント参加の際、面談などで保護者とのコミュニケーションも多く取れるようになっている。

事業所の改善点

昨年度同様、非常時の対応にマニュアルの見直し、防犯マニュアルの作成、職員の避難訓練や児童を含む避難訓練を行う。学校とも連携を取り合同の避難訓練を行う。
避難訓練などの様子を面談などでも伝えながら行っていく。

事業所の改善への取り組み

非常時の対応についてはマニュアルの確認を行い、保護者にも面談時や保護者会などで伝えていく。
学校とも合同訓練ができるかを確認して行く。
職員もマニュアルの周知を行い全職員で避難訓練を実施していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度の取り組みとしてハロウィン、クリスマス、活動で作った制作の展示会を行い、その中で保護者も呼び参加してもらうことを行った。普段の子供たちの様子を保護者に伝える機会が多くなってきている。
専門職含め活動内容を一緒に考え活動提供が出来た。
保護者が活動に参加し日々の様子がみれること、子供達の事を考えて活動提供していることが活動に対しての高評価にも繋がっていると思われる。たんぼぼでしか経験できないことをこれからも考えていきたい。
今後もブログや連絡帳で活動の様子を継続して伝えていきたいと思った。